

花乃井だより

学校
通信

令和3年1月19日(火)
第46号
大阪市立花乃井中学校

いよいよ大寒がやってきます。



明日1月20日(水)は24節気の第24番目「大寒(だいかん)」

です。文字通り1年で最も寒さが厳しくなる頃です。しかし、これから2月の節分そして立春へと暦の上では春へと着実に進んでいきます。「冬は必ず春となる」や「夜明けの来ない夜はない」など、自然の摂理を引いて、どんな辛い時でも前へ進むことを促す言葉はいくつもあります。また、昔から「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と言われているように、この3か月はあっという間に終わってしまいます。これらの言葉をかみしめながら今週も頑張りましょう。早くこの寒さが緩んでくれればいいですね。

昨日は久しぶりの全校集会でした。「吹奏楽部のアンサンブル金賞」や「大阪市中学生絵画・写真コンクールの入選」「共同募金運動の感謝状」などの表彰伝達がありました。

学校長の話より



26年目の1月17日

1月17日は「忘れることなく受け継いでいく日」です。今から26年前の1月17日、午前5時46分52秒。震度7(マグニチュード7.3)という当時では経験したことのない大きな地震が起きました。「阪神淡路大震災」です。命を奪われた人は6434名、そして全半壊家屋が約25万棟という被害は、戦後に発生した自然災害の中でも、東日本大震災が発生するまでは最悪のものでした。早朝でほとんどの人がまだ目覚めていない頃の大地震であり、全半壊家屋が多かったため、数万人が生き埋めとなり、圧死者が全体の大半を占めるという惨状でした。そして、続いて起こった火災。被災した街並みには消防車が入れず、消火活動もままならない中で、しばらくは燃えていくのを見つめるしかないという歯がゆいものでした。それによって多くの人が犠牲になりました。

私の友人も家を失ったり、ケガをしたりして大変な思いをしています。あれから26年目。被災者の方々の言語に絶する辛労と、全国からの多くの応援のおかげで、何とか街並みは復活していますが、被災者の方々の心の傷はまだまだ癒えていません。これから先、私たちにできること。それは、この事実と思いを次へ受け継いでいくことです。そして、その教訓を生かしていくことです。

校長談

当時、私の家や周辺地域は壁にひびが入ったり、食器などが破損したりしただけの軽傷で済みましたが、西宮に住んでいた私の同僚は家屋がほぼ全壊しました（体は家族も含めて何とか軽傷でした）。

震災後まもなく、休日を利用して片付け等の応援に行きました。道が混んでいることを見越して原付バイクで出発したのですが、途中から渋滞ではなく道路が陥没していたり、倒壊物等で通行不可能になっていたりして、結局、2時間ほど線路伝い等を歩いてやっと現地に辿り着きました。親類・知人の安否確認や応援に駆け付けた人はほぼ同じように歩いて目的地に向かう人が多かったです。私たちは情報交換をしながら一緒に歩きました。

同僚は避難所生活。避難している小学校もあちこち被害を受けていて、「これ大丈夫か？」という状態。たまに余震で揺れるたびギシギシと音が鳴る体育館で、とても恐かったです。まだまだ救援物資が整っていないときでしたので、持参したわずかの水や食料などの救援物資でも、とても喜んでくれました。その日は家屋の片付けと周辺の清掃などを手伝いました。晴れていましたが、風が強くとても寒かったことを覚えています。避難所も暖房が止まっていて、焚火などで暖を取っている状況でとても寒かったです。

1・2年生はチャレンジテスト

3年生は第5回実力テスト

1月13日（水）は、大阪府内の公立中学校で、1年生は国数英、2年生は国社数理英の「中学生チャレンジテスト」が実施されました。また、1年生については大阪市版「チャレンジテストプラス」として、社会と理科のテストもあわせて行われました。それぞれ府（市）での平均正答率などの統計が出てきます。皆さん頑張りましたか？ 本日は当日欠席で受検できなかった人の後日受検も行いました。

3年生フロアの「輝樹」も合格バージョンです。



3年生は最後の実力テストでした。といえば、1月16日（土）17日（日）に今年度から新たに始まった「大学入学共通テスト」が実施されています。3年生のみなさんは、3年後に受けることになります。新聞に問題が載っていますので、受検が終わったらじっくり見てみてはどうでしょうか。3年生では現在、高校等の入試（面接試験）に向けて、校長との面接練習を行っています。練習でも皆さん少し緊張気味ですが、それぞれに一生懸命に回答していますよ。本番はしっかり頑張ってください。